

## 「乳癌周術期 dose dense パクリタキセル療法におけるペグフィルグラスチム省略の検討を目的とした観察研究」についての情報公開

乳癌の補助化学療法として行われるdose dense療法でのパクリタキセル投与時にはこれまでペグフィルグラスチムが使用されてきました。ペグフィルグラスチムは好中球回復により治療期間延長を防ぎうるため使用されてきましたが、骨痛やアレルギー反応等の有害事象を起こすことがあり、薬剤費を含めた医療費は著明に増加します。ペグフィルグラスチムを省略した場合における治療の有効性及び安全性については欧米で行われた試験で示されています。

しかし対象者の人種に偏りがあり、アジア人を対象とした試験成績等について検討するため後ろ向き観察研究を計画しました。

**研究対象：**東北労災病院にて乳癌でdose dense EC療法を受け、その後2019年2月から2024年3月までにパクリタキセル療法を4サイクル目まで完遂した患者さま

**研究期間：**倫理委員会承認日～2025年3月31日

**方法：**診療録の記載内容から収集された、患者背景や検査所見、治療経過を用いて検討を行います。検討結果は全体をまとめたものであり、個別の症例としては取り扱わないようにし、特定の患者さまに直接の不利益がもたらされることはないよう最大限の配慮を行います。

なお、研究に関するお問い合わせ、ご意見、研究協力拒否等のご要望につきましては、研究代表者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

研究代表者：

独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院

内科 大竹かおり

TEL 022-275-1111, FAX 022-275-7541

〒981-8563 仙台市青葉区台原4丁目3-21